



はは歯クラブだより



NO. 11

長崎市鳴見台小学校

学校歯科医 行成 哲弘



こんにちは！

今回は、不正咬合について、少しお話します。不正咬合にはどのようなものがあるのでしょうか。学校健診では

反対咬合・・・前歯のかみ合わせが逆になっている場合。奥歯のかみ合わせが逆になっている場合は臼歯部反対咬合と言います。

上顎前突・・・一般的には出っ歯と言われている場合で、かみ合った場合に下の前歯が上の前歯に覆われて見えなくなる場合を過蓋咬合と言い、上顎前突の一種です。

叢生(そうせい)・・・隣同士の歯が重なって「ガタガタ」に生えている場合で、一般的に八重歯と言われるもの含まれます。

開咬(かいこう)・・・奥歯はかみ合っているのに前歯が垂直的にかみ合わない場合。永久歯が生えかけでかみ合っていない場合は含みません。

正中離開・・・上下の前歯の間に6mm以上の隙間がある場合。

歯並びが悪いと・・・

- 1、食べ物のカスがたまりやすく、歯みがきもむずかしいので、むし歯や歯槽膿漏になりやすい環境になる。
- 2、発音がうまくできないので、会話がしにくい場合がある。
- 3、よく(うまく)かめない、かみきることができにくかったり、かめる箇所が少なかったりすると食事などに不自由で、その結果、成長期ではあごと口のまわりの筋肉の発育が不十分になりやすい。
- 4、歯並びと口もとは顔のポイントです。歯並びが悪いと、それがコンプレックスとなって、大きく口を開けて笑ったり、しゃべったりするのにひけめを感じて消極的になりがちです。大きな口で笑えることは大切なことです。

治療の時期、方法もそれぞれの不正咬合で違います。次回からはそれぞれの不正咬合についてもう少し詳しくお話します。

詳しくは、ホームページをご覧ください。「ゆきなり」で検索すると簡単です。

<日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘>